(B部門 ホームページ掲載用 講 評)

- 「楽譜」は、音楽における「地図」です。地図を見ながらでも目的地への道の選択が色々あるように、「曲の解釈」も様々ですが、「地図」を正しく読めなければ目的地へは絶対に到達できません。暗譜した後でも「楽譜は何度でも読む」ように。「新しい発見」は、いつでもあるのですから。

- コンクールでは、メリハリ（工夫して下さい）や、仕上りの精度が評価されます。どんなに魅力的でも、「欠けたお茶碗」は商品になりません。

- 教育的な観点からは、好きな曲、楽しい曲、恰好良い曲ばかりではなく、古典派の作品をしっかり学んで欲しい、と思います。「おやつ」ばかり食べていては、きちんとした発育は望めないからです。でも「ピアノをやっていて、良かったァー」という曲に出会うことは、とても大切で、その事が成長に欠かせないのも事実。クラシック以外の曲も含め、様々なジャンルにチャレンジして下さい。

- 最後に、本日の経験が「楽しい思い出」と「達成感」になりますように！

以上、審査員の先生方(佐野圭、藤沼明美、奈良康佑：敬称略)各先生方からのコメントをまとめる形で

雨宮さくらが書かせて頂きました。